

鳴海ヶ丘新聞

第4号

2015年3月11日



2月28日、豊明市文化会館小ホールにて劇あそび発表会を行いました。クラスで演じた物語は、みんなで毎日毎日力を合わせて作り上げた大切な作品です。先生が作った絵話から物語を知り、身ぶりあそびを通して物語の登場人物について理解を深めていきました。「この場面のこの登場人物はどんな気持ちかな?」「どんな身ぶりで見せたいかな?」先生と一緒にクラスみんなで一面一面を作り上げ、一つの物語を完成させました。どのクラスの発表もみんなで心をひとつにして、今までやってきたことの集大成を



劇あそび発表会
開催!

お見せすることができました。また、舞台袖でも、次の役の身支度をすばやく行い、時には、仲間と助け合いながら小道具を準備し、出番が来るまでお友だちの演技をじつと見守る姿に、日頃の練習の成果を感じることができました。この劇あそび発表会を通して子どもたちは、ひとまわりもふたまわりも大きく成長したようです。もうすぐ今年度も終わります。春から新しい学年、そして新しい小学校で活躍する姿が楽しみです。



なるなる探検隊

けかもの幼ちつしつけ
ちの幼さも傷つけ
朽十匹のさまたま
中何ト見どもき
ぶ何ト発子とて幼虫
の力ブそがた。幼虫
やいてる虫そがた。幼虫
竹やぶに眠る虫そがた。幼虫
なるなる畑の下に眠る虫



けかもの幼ちつしつけ
ちの幼さも傷つけ
朽十匹のさまたま
中何ト見どもき
ぶ何ト発子とて幼虫
の力ブそがた。幼虫
やいてる虫そがた。幼虫
竹やぶに眠る虫そがた。幼虫
なるなる畑の下に眠る虫



けかもの幼ちつしつけ
ちの幼さも傷つけ
朽十匹のさまたま
中何ト見どもき
ぶ何ト発子とて幼虫
の力ブそがた。幼虫
やいてる虫そがた。幼虫
竹やぶに眠る虫そがた。幼虫
なるなる畑の下に眠る虫

けかもの幼ちつしつけ
ちの幼さも傷つけ
朽十匹のさまたま
中何ト見どもき
ぶ何ト発子とて幼虫
の力ブそがた。幼虫
やいてる虫そがた。幼虫
竹やぶに眠る虫そがた。幼虫
なるなる畑の下に眠る虫

けかもの幼ちつしつけ
ちの幼さも傷つけ
朽十匹のさまたま
中何ト見どもき
ぶ何ト発子とて幼虫
の力ブそがた。幼虫
やいてる虫そがた。幼虫
竹やぶに眠る虫そがた。幼虫
なるなる畑の下に眠る虫

けかもの幼ちつしつけ
ちの幼さも傷つけ
朽十匹のさまたま
中何ト見どもき
ぶ何ト発子とて幼虫
の力ブそがた。幼虫
やいてる虫そがた。幼虫
竹やぶに眠る虫そがた。幼虫
なるなる畑の下に眠る虫



けかもの幼ちつしつけ
ちの幼さも傷つけ
朽十匹のさまたま
中何ト見どもき
ぶ何ト発子とて幼虫
の力ブそがた。幼虫
やいてる虫そがた。幼虫
竹やぶに眠る虫そがた。幼虫
なるなる畑の下に眠る虫

けかもの幼ちつしつけ
ちの幼さも傷つけ
朽十匹のさまたま
中何ト見どもき
ぶ何ト発子とて幼虫
の力ブそがた。幼虫
やいてる虫そがた。幼虫
竹やぶに眠る虫そがた。幼虫
なるなる畑の下に眠る虫

けかもの幼ちつしつけ
ちの幼さも傷つけ
朽十匹のさまたま
中何ト見どもき
ぶ何ト発子とて幼虫
の力ブそがた。幼虫
やいてる虫そがた。幼虫
竹やぶに眠る虫そがた。幼虫
なるなる畑の下に眠る虫

青2組



青二組では、投げごま、糸引きごま、ひねりごまなど様々なこまを体験してきました。みんな、それぞれ自分の好きなこまを回して楽しむことができました。投げごまでは、「せーの!」で投げ、誰が最後まで回るか、対決をしました。こま同士がぶつかると接戦もあり、大盛り上がりでした。周りからは、「〇〇くん頑張れ!」と応援の声もたくさんあがり、あがりまきついたり、巻きついたり、どうすればよく回るか自分達で考え挑戦する姿も見られました。とても嬉しかったです。



赤4組



赤四組は、指揮者の写真を見せると、「指揮者だ!」とすぐにおわりました。指揮棒を手作りし、なりきってみることに。静かな音では小さく、力強い音のときは力いっぱい振り、表情まで作り行っている姿はまるで本物の指揮者のよう。舞台上立つと更に気持ちが高揚してきたよう。始める前に両手を挙げ準備している姿はかわいらしかったです。お気に入りの曲もでき、「この曲は暗い感じ」、「この曲は楽しい感じが好き」と曲についての理解も深まりました。指揮者になりきって遊ぶことでクラシックにも興味を持ったみたいです。



赤1組



赤一組では、折り紙という文化に目を向けてクラスで遊びを通して学んでいます。折り紙がいつ頃から作られるようになったのか詳しい事はまだ解明されていませんが、日本人は手紙を折りたたんだり、紙で物を包んだりするなど実用的、礼法的な所から折り紙の文化を生み出したと言われています。こうした折り紙の歴史を知りながら子どもたちと折り紙という古き楽しいあそびに取りこんでいきます。二月には鬼、三月にはひな人形など季節を感じることもできること、この折り紙の良さの一つではないかと思えます。



黄2組



黄二組は、年賀状や友だちとの手紙でのやり取りで盛り上がる子どもたちを見て、「郵便ごっこ」を行いました。昔は飛脚と呼ばれた人々が何日もかけて届けていた事や黒いポストだったことを話すと、目を丸くして驚く子どもたち。郵便の歴史を聞いた後は画用紙を手に取り、大好きな人への思いを浮かべてお手紙を書きました。「大好き」「いつもありがとう」等、思い思いのメッセージを添えて配達に出発!受け取った相手の喜ぶ顔をみて心を込めて気持ち伝えることの大切さを感じることができました。



HELLO 若草会

「一年を振り返って」

今年度、祝55周年を迎えて、平成16年度若草会会長の山本えみかさん、17年度若草会会長の竹内真由美さんとの交流の機会を園長山本さんは、子どもが大きくなれば自分の時間を持つので、たいたい、おかわりの挨拶ができるように家で迎えることで、できるだけ子どもとの時間を大切にしたいと願っていました。竹内さんは、親の話をきいてもらうには、自分の興味のない話題でも熱心に子どもに話を傾けて聞いてあげることが大事。相手の意見を引き出すように会話のキャッチボールを続けたいと思っています。お二人の貴重な経験を聞かせていただきました。

この一年間、様々な行事を体験させていただきました。笑顔溢れる一年を生きていきたいと思えます。来年は、祝55周年を迎えて、平成16年度若草会会長の山本えみかさん、17年度若草会会長の竹内真由美さんとの交流の機会を園長山本さんは、子どもが大きくなれば自分の時間を持つので、たいたい、おかわりの挨拶ができるように家で迎えることで、できるだけ子どもとの時間を大切にしたいと願っていました。竹内さんは、親の話をきいてもらうには、自分の興味のない話題でも熱心に子どもに話を傾けて聞いてあげることが大事。相手の意見を引き出すように会話のキャッチボールを続けたいと思っています。お二人の貴重な経験を聞かせていただきました。



若草会副会長 安井純子